情報公開条例の一部を改正する条例の制定など13議案が可決

6月定例町議会【町長事務報告】

6月5日から15日まで6月定例町議会が開催されました。提出議案は条例の制定についてなど7件、契約の締結について2件、町道の認定および廃止について2件ほか計13議案で、すべて原案どおり可決しました。

財政　決算規模は131億円程度の見込み

平成18年度中の町の財政状況は、歳入面では2年連続で町税が増収見込みとなりましたが、国庫支出金や交付税等が前年度を下回る見込みとなるなど、依然として厳しい環境であります。

また歳出面では、人件費、扶助費、公債費といった義務的経費の抑制に努めながら投資的経費の財源確保を図ってまいりましたが、維持補修費や繰出金などの経費が増加しており、財政の硬直化が進行している状況にあります。

こうした中、町債の発行や基金の取り崩しなどにより歳入を確保するとともに、投資的経費の削減に努めながら、重点事業の推進を図ってまいりました。

平成18年度会計の決算規模は、前年度からの繰越分を含め普通会計ベースで131億円程度になる見込みです。歳出予算の執行率は、見込みで96・2%となり、おおむね所期の目的を達成できたと認識しております。

企画政策　九十九里浜全域清掃大作戦を実施

白里海岸の観光資源としての再編成、リピーターの確保、地域住民の相互交流を図るため、千葉県との共同により「白里海岸地域の振興に関する観光資源創生プロジェクト」を進めてまいりました。

今年度は、これまで検討してきた計画の実践プログラムとして、美しい海岸づくりと自然環境の保全による愛着心の醸成を図るため、学生と地域の方々との交流を軸とした九十九里浜全域清掃大作戦を実施してまいります。

社会福祉　町地域福祉計画策定に向け取り組み

地域福祉の向上を目指し、町地域福祉計画の策定に取り組んでおります。

今後は、3月に実施しましたアンケートの調査結果、6月から7月に開催される町内5地区のタウンミーティングの結果および関係団体との懇談会の結果をもとに、現状の把握と課題の抽出を行い、骨子案を作成したいと考えております。

▶山辺地区のタウンミーティングの様子

高齢者支援　地域包括支援センターの業務がスタート

4月から地域包括支援センターの業務をスタートいたしました。

高齢者の方々が安心して生活できるよう権利を守り、自立して生活できるようさまざまな方面から支援してまいります。

生活環境　町民、事業者、行政による環境美化運動を推進

ごみの散乱防止と環境保全意識の高揚を目的としたごみゼロ運動が、5月27日に実施されました。

区・自治会等、107団体、約8,500人の参加を得て、約10トンの空き缶などを回収することができました。

今後も町民、事業者、行政が一体となり、環境美化運動の推進を図ってまいります。

観光　白里海岸の利便性を向上

白里海岸における海の家の撤去問題がすべて完了し、今年4月から新しい海岸の管理体制をスタートさせました。

今年度は、老朽化した海岸のトイレの改築を行い、白里海岸が観光地にふさわしくなるよう環境整備を進め、来遊客に満足していただき、再び訪れていただけるようこれまで以上の利便性の向上と、イメージアップに取り組んでまいります。

▲白里中央海岸に完成したシャワー付きのトイレ

海の家　海の家を出店する12業者を選定

昨夏に6店舗ありました海の家の出店は、出店条件のルールづくりのもと募集を行い、「大網白里町海の家等適正利用調整会議」において12業者を選定しました。海岸管理者の県と協力しながら、好感をもっていただけるイメージづくりと、秩序ある海岸利用を推進してまいります。

農村整備　「農地・水・環境保全向上対策」を推進

21世紀を展望した新たな農政政策の一環として、本年度より「農地・水・環境保全向上対策」を推進してまいります。

農村環境の保全は、農業者だけでなく、地域住民が一体となった活動が必要であることから、町内6地区で団体が活動を予定しております。

このうち、瑞穂環境保全会では、去る5月16日に活動の第一弾として、瑞穂小学校5年生による田植え体験が実施されました。

学校教育　コンピューター教室の設備更新

IT社会の進展が目覚ましく、小中学校においても教育環境の整備が求められております。そのため今年度は、町内5小中学校におきまして、夏季休業期間を利用し、コンピューター教室の設備更新を進めてまいります。

水泳教室は、昨年度に引き続き全小学校で、各4日ずつ実施する予定です。

分離校　大網中学校分離校の建設を凍結

大網中学校の分離校につきましては、平成14年に建設を決定いたしましたが、電磁波問題で中断に至りました。

大網中学校の生徒数は、平成21年度まで増加し、平成22年度以降は除々に減少傾向になることが予測されています。

また、大網中学校の生徒増に対応するため、平成13年度以降プレハブ校舎を建設したことにより、平成21年度のピーク時にも対応できる状況となっております。

このことから、分離校の建設は、当分の間、凍結することとし、大網中学校の施設整備と通学路の整備を進める方針に改めたいと考えております。

今後、議会および町民の皆さんの意見を伺いながら、建設について決定してまいります。

栄養士だより㊸

食事バランスガイドを活用しましょう⑥

今月は、牛乳、乳製品（カルシウムの多い食品）の目安量を紹介します。

現代の食事はカルシウム不足。骨はどの年代の人でも毎日作りかえられています。朝食はヨーグルト、昼食は牛乳、夕食にはチーズを使った料理を加えるなど、毎食少しずつとると無理なくとることができます。意識しないと不足しやすいので、丈夫な骨のためにカルシウムをとるようにしましょう。

ただし、必要以上にとると脂肪分を過剰に摂取することになりますので、あくまでも適量を心掛けましょう。

※必要エネルギーについては広報6月号をご覧ください

◇1日のエネルギーと牛乳・乳製品の目安量
1600～2400kcalの人→2つ
2400～2800kcalの人→2～3つ

◇食品の目安量
（1つの基準はカルシウム約100mg）
1つ・・・牛乳100cc、スライスチーズ1枚、ヨーグルト小1個

厚生労働省・農林水産省決定

問健康介護課健康指導班　☎（72）8321

保健師だより

がん検診の申し込みが始まります

7月2日㈪～8月15日㈬にがん検診の申し込みを受け付けます。

1981年以来、がんは日本人の死因の1位を占め、一部の種類のがんを除き、死亡者・患者数は増え続けています。男性の2人に1人、女性の3人に1人ががんにかかると推測されており、早期発見・治療が重要です。

年に一度はがん検診を受けましょう。

▶申込方法（①、②のいずれか）
①住所・氏名・生年月日・電話番号・希望するすべての検診名・希望日を記入して往復はがきで申し込み（8月15日必着）
②官製はがきを持参して健康介護課（保健センター）で申し込み

がん検診の対象・方法・費用

検診名	対象年齢	検査方法	費用
胃がん（午前のみ）	40歳以上	バリウム検査	1,000（500）円
大腸がん	40歳以上	便潜血反応検査	600（300）円
乳がん	30～50歳代	超音波（エコー）検査	800（400）円
	40歳代～60歳以上	マンモグラフィー検査	800（400）円
子宮がん	20歳以上	子宮頸部細胞検査	800（400）円
骨粗しょう症	19～70歳の女性	かかとの超音波検査	700（700）円

※（ ）内は70歳以上の費用

がん検診日程

9月5日㈬	保健センター
9月6日㈭	農村環境改善センター いずみの里
9月7日㈮	保健センター
9月8日㈯	保健センター（午前のみ）

問健康介護課健康指導班　☎（72）8321